

めぐみ厚生センター センターだより

第 335 号
発行 2013年5月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
どりいむ 0952(34)7727
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063
ピースハイム 0952(64)2012
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 富樫史朗
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

このたび当センター理事長に就任しました旧めぐみ園隣の佐賀めぐみ教会牧師十五年目の富樫史朗です。宜しくお願いたします。理事を数年来務めさせていただいておりますが、これまで不勉強ですみません。今後は皆様のお役に立てるよう一層、励ませていただきます。

しかしながら、昨年、死去した母が長年、大阪府民生児童委員を務め、また、中学生以来の親友の母親が京都市立養護学校の教員だったため、母が施設の見学に行った感想を耳にしたり、持ち帰ったパンフレットを見たりなど、障害者福祉の情報に触れることもあり、関心は持っていました。高校生の頃、親友から彼の母親に勧められて読んだら面白かったと当時の知的障害者福祉界のリーダーの一人だった田村一二氏著「茗荷村見聞記」を借り、感動のうちに読み終えました。ちょうどその時に、ダウン症の子供さんの両親が私の母に何かの証明書を貰いに来られ、母はその件で市役所に行っていたので、自宅の応接間で母が戻るのを一緒に待



ご挨拶

めぐみ厚生センター

理事長 富樫史朗

ちました。その間に本のことをお話すると、是非、自分達も読みたいとおっしゃるので、その場から電話で親友に了解を得て、又貸しました。父親は当時裁判官で、独り子の将来を案じてどこかに転居と転職を考えておられたとのことでしたが、情報がなくて困っておられました。その本を読んでやはり感動され、夫婦で著者に会いに行つたことがきっかけとなり、この分野での先進県、滋賀県内に転居され、弁護士を開業されたと母から後日、聞きま

私は大学では獣医学を学びましたが、大学院在学中にロータリー財団奨学生として米国の某州立大学に一年間留学することができました。奨学生の語学試験は長文の障害者憲章の英訳でした。試験後に居合わせた受験生達と話して、私が一番できているのに驚きました。事実、十数倍の競争に残ることができました。後日、当時の試験委員長が聖公会の引退主教で視力障害者施設の理事長だったと知りました。私は信託者家庭出身ではありませんでした



が、幼少時から日曜学校に通い、中学高校は京都市内のカトリック系で聖書研究会にも進んで出席していましたし、大学ではもちろん、予備校でも良い指導者に恵まれました。留学先はキリスト教信仰に篤い地域でしたが、下宿先も知的障害者の成人した独り息子がおられる信仰者家庭でした。そのうち、幕末に佐賀にキリスト教を伝えたフルベッキ宣教師の後輩と出会って洗礼を受けました。帰国後、大学院を終えました。その間に教会の日曜学校教師を務めたことから神学校に進み、四年後に卒業して京都と北海道の教会での伝道師を経て今日に至りました。神様のお導きを感じないではありません。佐賀での十五年もあつという間でしたが、貴重な出会いも多く経験しました。今後も利用者・保護者・職員や地域との関係を大切にしていきたいと願っています。

めぐみ園

作業科 お花見

三月二十九日 作業科の方々がお花見に出かけました。

まずは県庁前の桜のアーチへ。その後、以前花見に出かけていた神野公園周辺へ。神野公園の遊園地を眺めながら昔話に花が咲きました。最後は、空港公園でお弁当。



今年は豪華な4種類のお弁当!

(H)



新年度 スタート

四月一日午後、今年度の体制発表がありました。利用者の方々はドキドキ・ワクワクの表情でしたが、発表後は落ち着き、活動室で「せせらぎ」(男性棟)「そよかぜ」(女性棟)に分かれ集合写真を撮りました。(マザー)



幅広い年齢層ですが、みんな仲良く生活しています!

♪イースター礼拝 レクリエーション♪

四月三日、創作活動室にて富樫牧師より、イエスキリストの復活について、礼拝をして頂きました。

礼拝後利用者の方々皆で、たまごにシール貼りや飾り付けをしました。また飾り付けをしたまま、箱の中から当たりのたまごを引き当てた十六人の利用者の方々は景品を受け取り喜ばれていました。

毎年昼食には、たまごを食べていますが今年度は『たまごや』のプリンをテイタムの時に食べました。イエス・キリストの復活を楽しんで知ることが出来る一日でした。

(ぶんが)



たまご♪



完成!



どりのむ

大和町川上方面周遊

第二・四土曜日はどりのむと地域活動センターの開所日です。四月十三日は大和町にあるチューリップ畑を見学しました。色とりどりのチューリップが、鮮やかに咲いていました。その後川上峡まで進み、土曜日ということもあり近くの神社の駐車場は満車状態。しかし車窓から見る吹き流しに、「おー! きれいかなー!」とチューリップ以上に利用者の方は驚かされていました。

(りん)

きれいかな!!



富士学園

初めまして！
『チームデIRON』です

レクリエーション活動で恒例となつたドッグセラピー、三月八日（金）の今回は、『チームデIRON』様が来園されました。



初めて対面した犬達のはずなのにすぐにうちとけ、頭をなでたり抱きかかえたり、思い思いに触れ合っておられました。



犬を抱きかかえて余裕のポーズをとりながら写真におさまる方も多くおられ、カメラマンも腕の見せ所です。



楽しい時間を過ごすことができ、「また来てね」と犬達に声を掛ける方もおられました。
(イチロー)

日頃の成果を！

四月十日（水）イエローレシートキャンペーンの贈呈式がイオン佐賀大和店で行われました。毎月十二日のイオン・デーには、富士学園やウイズ富士などの名前と活動内容を書いた投函箱を設置しています。この日のお買い上金額合計の1%が寄贈されています。皆様も毎月十一日は是非イオン佐賀大和店でお買い物をお願いします！

(タロー)



ご協力お願いします！



ウイズ富士

お花見に行きました

三月二十九日、園芸科の利用者の皆さん二十二名で金立公園へお花見に行きました。桜のトンネルに皆さん「綺麗かね〜」と感激！
(ふくふく)



新しい仲間が増えました

四月十二日、農芸科へ新しいトラクターが納車されました。夏野菜の準備に大忙し！
(ふくふく)



ピースハイム

新しい風

新年度に伴い、ピースハイムでは入居者のホーム移動がありました。ケアホーム富士・IIよりケアホーム川久保に引っ越された一村光男様もその一人です。引っ越される前は緊張されていた一村様も、今では新しい部屋にも慣れ、リビングでくつろがれたり、休日にはホームの他の入居者と一緒に買物に出かけたりと、川久保ホームの一員として毎日元気に過ごされています。

富士・IIホームにおられた頃とは、また違う楽しみを毎日模索していらっしやるようです。

音楽を聴くのが好きな一村様は、新しい部屋でどんな音楽を聴かれているのでしょうか。

これからも、川久保ホームでしか出来ない素敵な事をたくさん見つけて下さいね。
(エストレヤ)



ふれあい

野点

三月二十六日、桜の花も見ごろを迎え、温かい日差しが降り注ぐ中で野点が催されました。

来て下さったお客様に心を込めてお茶点で「美味しい」の一言に皆さんの顔には笑顔がこぼれていました。

(胡桃)



聖句

体のもとし火は目である。目が澄んでいけば、あなたの全身が明るいが、濁っていれば、全身が暗い。だから、あなたの中にある光が消えれば、その暗さはどれほどであろう。

(マタイによる福音書 第六章 二十二節〜二十三節)

新任職員紹介 めぐみ園

生活支援員 古賀 光瑠
抱負：自分自身の成長と利用者の方の幸せを第一に考え、支援の向上につながるよう頑張ります。

生活支援員 野中 雅哉
抱負：常に明るく、笑顔で利用者の方と過ごし、支援に努めます。

生活支援員 山下 和恵
抱負：利用者の皆さんに喜んでもらえるような食事を提供できるように頑張りたいと思います。

富士学園 生活支援員 津隈 和広
抱負：周りとの協調性を大事にし、利用者のことを第一に考えながら、日々努めたいと思っています。

生活支援員 青葉 美樹
抱負：今年度から富士学園でお世話になります。まだまだわからないことばかりですが、一生懸命頑張っていこうと思うので、よろしくをお願いします。

ウィズ富士

支援員 池田 正文
抱負：明るく、楽しく、利用者と一緒に過ごしていきたいと思っています。頑張りますのでよろしくをお願いします。

支援員 糸山 周
抱負：初心を忘れず支援を行い、今後、利用者と共に色々な経験を通して成長していきたいと思っています。

ピースハイム 支援員 古賀 麻子
抱負：皆様のおかげで一年頑張ることができました。新任職員として、仕事に対する責任も感じるようになりました。まだまだ皆様にご迷惑おかけすると思いますが、初心を忘れず仕事に励みたいと思いますので、よろしくをお願いします。

皆様ありがとうございました

(三・四月分)

- 富士学園へ
 - 兵動ボデー 兵藤勝彦様より 一万円寄付
 - 県より バナナ多量
 - 佐々木陽子様より 衣類寄贈
 - 山田信子様より 衣類寄贈

何でもコーナー

花粉症対策

現在、日本人の約二十五パーセントが花粉症だと言われています。

花粉症とは、スギやヒノキなどの植物の花粉が原因となつてくしゃみや鼻水などのアレルギー症状を起こす病気です。季節性アレルギー性鼻炎とも呼ばれています。日本では、約六十種類の植物が花粉症を引き起こすと報告されています。

今年の花粉の飛散量は昨シーズンの三倍以上と言われています。

季節の前から予防を行うと効果的で、メガネやマスクなど有効。

症状を軽減するために行う『対症療法』完治を目指す『根治療法』があります。

快適な生活が送れるよう規則正しい生活に心がけましょう！

(マザー)

あしがき

四月、新年度がスタートしました。四月中旬を過ぎても寒暖の差が激しく、皆さん体調を崩されないよう十分体調管理に気をつけ、充実した一年を過ごされますように！

(マザー)

